

RC ゴリス著 《英語正解法》の紹介

人生で二度しか英会話をしたことがない私が言うのも変ですが、ゴリス先生の《英語正解法》は実に良く判る英語の解説です。出会ったのは50年ほど前のことでした。

塾の生徒さんたちが小学校を卒業して中学に進むとき、この本をプレゼントしたものです。今は出版されていないようですが

「朋友出版さん、是非再版してくださいな。」

とりあえず、ここに第一章を紹介させていただきます。

『英語の上品な挨拶は、相手の幸福を願う言葉』

という解説は、

英語の挨拶の基本的考え方を述べられていて、

Good morning を

おはようございます と訳す勉強方法を

改めるべきことを教えてくれます。

# あいさつ

英語にも日本語のように、  
いろいろと挨拶の仕方がある。  
だいたい同じときに使う挨拶でも、  
その内容や意味が

日本語の挨拶と違うことに

注意しなさい。

## 1.1 上手な挨拶<sup>あいさつ</sup>

英語のいちばん簡単な挨拶は、  
次の通りである。

*Hello (Hi)*

*Welcome*

*Goodbye*

## (1) *Hello (Hi)*

「やあ」

は親しい友達どうしで使う。

日本語の「やあ!」にあたる。

たとえば、  
学校へ行って校門で、  
同級生に会ったら

“*Hello Bill*” というのが

普通だ。

特別に親しい人ならば

“*Hi Bill*” になる。

*Hello* は

日本語の

「ただいま」、

「お帰りなさい」という

挨拶の代わりにも使う。

特に、

家庭ではそうである。

たとえば、  
学校から帰った子供が  
お母さん、ただいま、

・ *Hello* ,Mother!

お帰りなさい,Bill

・ *Hello* ,Bill!

親しい目上の人に対し

ても

*Hello* を使うことができる。

たとえば、

教室に入って、

先生(Brown さん),今日は。

*Hello* , Mr. Brown!

こんにちは, Bill, *Hello* , !

## RC ゴリス著 《英語正解法》の紹介

このように、

*Hello* は

「やあ」、 「こんにちは」、  
「ただいま」、 「お帰りなさい」  
という意味で使う。

しかし、

あくまでも **親しい挨拶** だ  
から、

**見知らぬ人** によびかけて

“*Hello, Hello*”

と呼ぶのは大変 <sup>ぶれい</sup>**無礼** になる。

外国人を見て挨拶したければ、  
もっと上品な言葉を使うことだ。

(2) *Welcome*

「ようこそ」  
「よくいらっしゃいました」

お客さんが家にみえたら、

“*Welcome*”

という挨拶で出迎える。  
とくにめったにみえないお客さん  
には  
これを使う。

また偉い人が学校や国を訪問する  
ときにも

<sup>かんげい</sup>  
「歓迎」という意味で

*Welcome* と書いてかかげる。

### (3) *Goodbye*

「さようなら」

*Goodbye* は

*Welcome* の反対の挨拶だ。

*Welcome* は

わりあい長い間会わなかった人  
いうが、

*Goodbye* は

これからしばらく会わない人に  
別れの挨拶として使う。

たとえば、  
先生がこれから出張して  
1ヵ月ぐらい帰らないとすれば、

“*Goodbye, Mr. Brown!*”

とって別れる。

しかし、  
日本の教室でやるように、  
授業が終わって、

“*Good-bye, Mr. Osawa!*”

と言うことはできない。

もう当分先生には会いたくない、  
というような**無礼な意味**  
になるからである。

(4) *So long*

「またね」

この挨拶は、

ごく親しい人同志が

しばらく別れるときに使う。

たとえば、

学校が終わって、

“*So long, Bill!*”

といって学友と別れる。

しかし、

親しい人でなければ

**無礼**になることもあるから、

親しい人だけに使うこと。

## 1.2 朝晩の挨拶

英語の上品な挨拶は、  
必ず相手の幸福を考えて  
「何々がうまくいきますように」  
というような挨拶になる。

たとえば、  
1日を細かく分けると、

*morning* 朝

*afternoon* 午後

*evening* 夕方

*Night* 夜

*day* 日

となる。

それぞれの期間に

**Good** (よい)をつければ、

その「期間」に

その人に

「よいことがありますように」

と望む挨拶になる。

こうして

**Good morning!** というと

「あなたにけきよいことがありますように」

という大変気持のよい挨拶になる。

*Good night!* は、

日本語の「お休みなさい」に相当する。

*Good morning!*

*Good afternoon!*

*Good evening!*

は、ふだん人に会うときに  
使う挨拶だ。

*Good morning!* は、

朝起きるときから正午までに  
使う挨拶だ。

*Good afternoon!* は、

正午から日没まで使う挨拶。

*Good evening!* は、

それから夜にかけていう。

*Good night!*

*Good day!* は、

別れの挨拶だ。

*Good day!* は、

ごく丁寧な挨拶で、  
日中、  
人と別れるときに使う。

先生が教室を出られるときには、  
別に挨拶はしないが、  
強いて言うなら、

*Good day!*

*Mr. Brown!*  
といってもよい。

### 1.3 感謝の挨拶

*Thanks.*

*Thank you.*

*Thank you*

*Very much.*

感謝の挨拶には、

上の3つが一番よく使われる。

(1) *Thanks*

「どうも」

は、Hi や So long を  
いえる人に対して使う  
親しい言葉だ。

たとえば、  
教室で友達から鉛筆を  
貸してもらったら、

“*Thanks, Bill.*”

という。

(2) *Thank you*  
「ありがとう」

は、一番よく使われる文句で、  
誰に対しても使える。

「あなたに (*you*)  
感謝します (*thank*).」  
という意味だ。

(3) *Thank you*  
*very much.*

「ありがとうございます」

は、ちょっとあらたまった挨拶で、

「たいへん (*very much*)  
ありがとうございます  
という意味になる。

感謝の挨拶に答えて、

*You're welcome.*

という。

これは、  
日本語の「どういたしまして」と  
は

ぜんぜん意味が違った  
言いかただ。

要するに、

日本語の言いかたは

「私は何もしなかった」

というような意味だが、  
英語では

RC ゴリス著 《英語正解法》の紹介

「あなたに対して喜んでサービスしてあげた」  
「あなたは私のしたことに権利がある」  
という意味だ。

そこで英語では、

*Thank you.*

「どうもありがとう」

*You're welcome.*

「あたりまえさ」  
という意味になる。

このほかにも、よく使われる挨拶のきまり文句がある。

*How do you do?*

*How are you?*

この挨拶は2つとも

「いかがですか」

という意味になるが、

ややあらたまった言いかたである。

だから、普通の会話ではあまり多くは使われない。

なお、この文については  
[37章 疑問詞の研究その1]  
をみなさい。